

トランスレーショナルリサーチ推進部門

Translational Research

情報科学分野

Chemo-Bioinformatics

特命准教授 梅寄 雅人 Masahito Umezaki

技術職員(前) 池原 達郎 Tatsuro Ikehara

◆ 原 著

- 1) Ono S, Nakai T, Kuroda H, Miyatake R, Horino Y, Abe H, Umezaki M, Oyama H. Site-selective chemical modification of chymotrypsin using peptidyl derivatives bearing optically active diphenyl 1-amino-2-phenylethylphosphonate: Stereochemical effect of the diphenyl phosphonate moiety. *Biopolymers*. 2016 Nov; 106(4): 521-30. doi: 10.1002/bip.22790.

◆ 学会報告

- 1) 鈴木 哲, 梅寄雅人, 錦織広昌. 光合成初期過程への超分子化学からのアプローチ シアノバクテリアの光化学系IIにおけるCLHおよびCP43中心アンテナ系の励起遷移の半経験的電子状態計算. 第24回光合成セミナー2016: 反応中心と色素系の多様性; 2016 Jul 9-10; 京都.
- 2) 鈴木 哲, 錦織広昌, 梅寄雅人. 誰にでも明日から始められる光合成初期過程の量子論的解明 半経験的分子軌道法による超分子系の励起電子状態計算. 第24回光合成セミナー2016: 反応中心と色素系の多様性; 2016 Jul 9-10; 京都.
- 3) 小野 慎, 中居孝彦, 沢井裕佑, 堀野良和, 畔田博文, 尾山 廣, 阿部 仁, 梅寄雅人. キモトリプシンLys175への部位選択的化学修飾法: 部位選択性に重要なジペプチド部分の設計. 日本化学会第96春季年会 (2016); 2016 Mar 24-27; 京都.
- 4) 小野 慎, 中居孝彦, 沢井裕佑, 堀野良和, 畔田博文, 尾山 廣, 阿部 仁, 梅寄雅人. キモトリプシンLys175への部位選択的化学修飾法: 部位選択性に重要なジペプチド部分の設計. 第53回ペプチド討論会; 2016 Oct 26-28; 京都.

◆ その他

- 1) 立川仁典, 山西芳裕, 梅寄雅人, 門脇 真. 和漢薬のターゲットタンパク質のインシリコ探索. 富山大学和漢医薬学総合研究所平成27年度共同研究報告セミナー; 2016 Mar 1; 富山.